

# カルダモンの輸入



**2024 年は、横浜港が輸入数量・金額ともに全国第1位！**  
**2025 年1～9 月は全国・横浜港ともに、輸入金額過去最高！**

## はじめに

皆さん、スパイスと言えば何を思い浮かべますか？ コショウ、とうがらし、生姜…。多くの方が、ピリッとした辛味から連想が始まると思います。ただ、スパイスはもうひとつ、「香り」も重要な要素です。

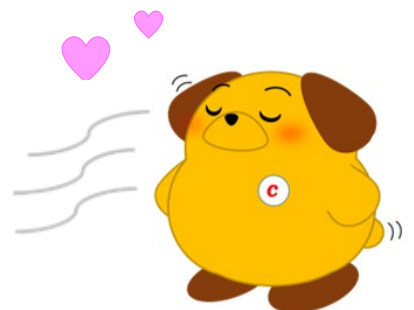
カルダモンは、インド原産のショウガ科の多年草で、エキゾチックさとほのかに柑橘類を思わせる爽やかで上品な香りから、「スパイスの女王」と呼ばれる香りを特徴とするスパイスです。乾燥させた果実の内側の種子に強い香りがあり、ホールのまま又は粉末（パウダー）にして使われます。古くから珍重されてきた歴史があり、古代エジプトの神殿では祈祷のお香に使用されていたそうです。料理への使い方も様々で、インドではカレーやスパイス入りのミルクティである「チャイ」のミックススパイスに、中東ではコーヒーに加えて来客のもてなしに、北欧ではパンに加えるカルダモンロールや菓子の香りづけにと世界各地で幅広く使われています。日本では、スパイス好きの方は知っているけれど、どこのご家庭にも必ずあるとまではいかない、といった位置付けでしょうか。しかし、スーパーなどのスパイスコーナーをよく見ると、思いのほか、この薄緑色の楕円形を見つけることができます。

2024 年のカルダモンの輸入において、横浜港は数量・金額ともに全国シェア第1位となり、また2025 年の1～9 月は既に輸入金額において全国・横浜港ともに過去最高となっています。今月は、カルダモンの輸入を特集します。

### ①カルダモン(花と実)



### ②カルダモン(ホールと種子)



(写真①②提供:エスビー食品株式会社)

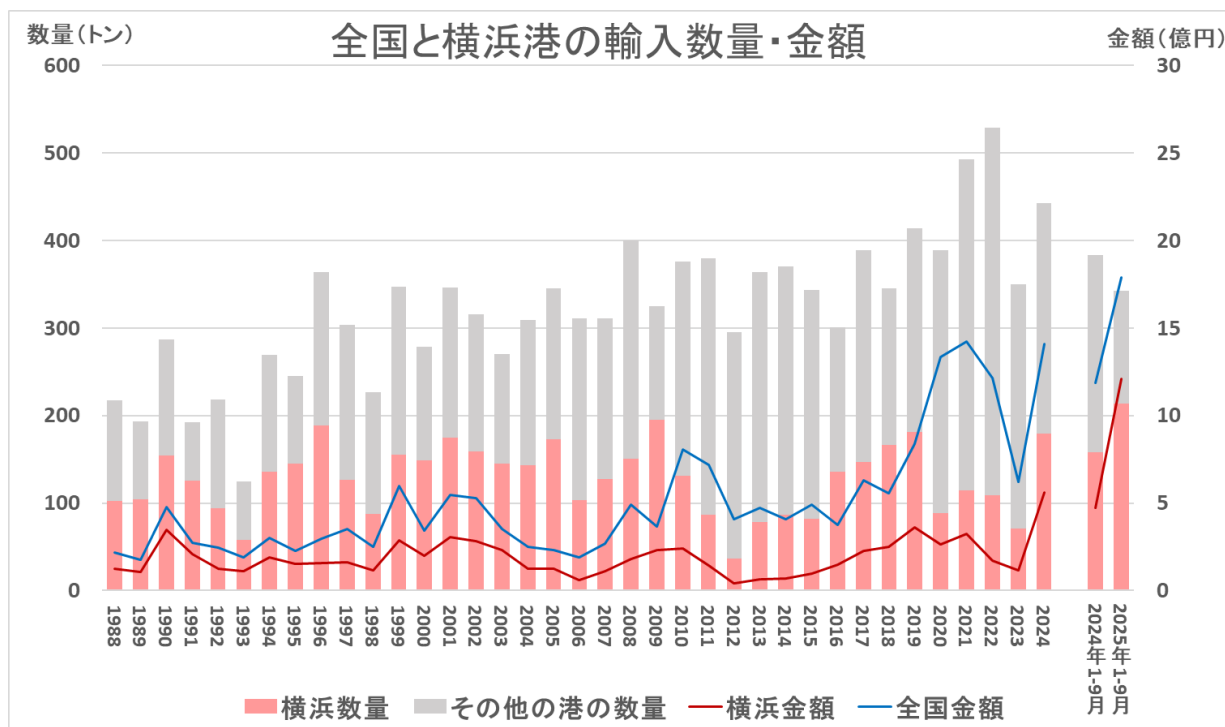
本特集の「カルダモンの輸入」は、以下の統計品目番号について、比較可能な1988年以降のデータをまとめたものです。  
輸入統計品目番号:  
(2012年以降)  
0908.31 (カルダモン類-破碎及び粉碎のいずれもしてないもの)  
0908.32 (カルダモン類-破碎し又は粉碎したもの)  
(1988年～2011年)  
0908.30 (カルダモン類)

## 輸入動向

2024 年の全国におけるカルダモンの輸入実績は、数量が 443 トン（対前年比 126.5%）、金額が 14 億 11 百万円（同 227.0%）でした。

このうち、横浜港においては、数量が 180 トン（対前年比 253.9%）、金額が 5 億 58 百万円（同 486.2%）となっています。

数量は全国において、2022 年に過去最高となりました。その後、2023 年は一旦減少し 2024 年は回復した形で前年比が大きくなっていますが、2020 年代に入ってからはいくらでも高い水準で推移しています。金額は、2025 年は 1～9 月までで既に、全国・横浜港ともに、1988 年以降において過去最高となっています。



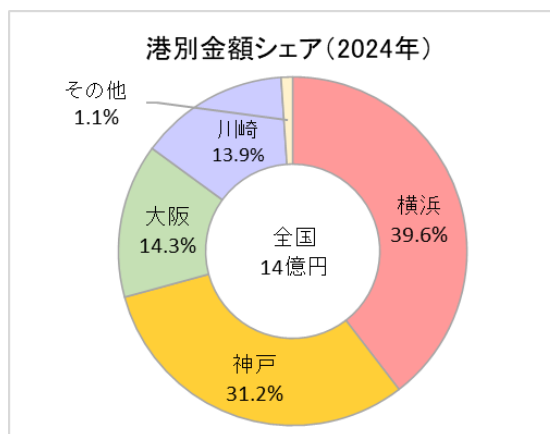
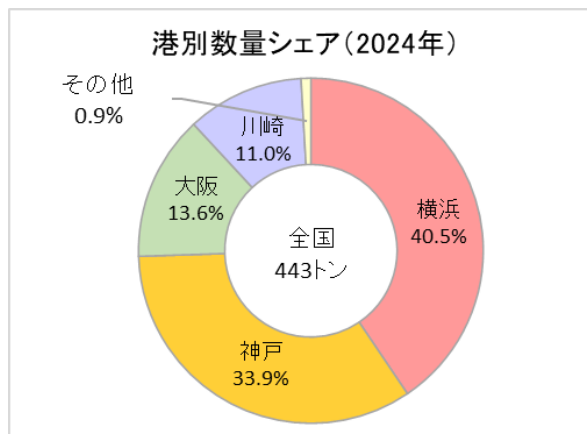
業界によりますと、輸入実績の推移については、従来のカレールウやカレー粉等の原料としての需要に加え、1990 年代のタイ料理ブームや、2000 年代前半からは北海道発のスープレカレー、その後もキーマカレー、バターチキンカレーといった「スパイシー」なカレーのブームが続き、輸入数量が徐々に増加することに繋がったようです。また、2020 年頃からの大きな伸びについては、コロナ禍での外食機会の減少や在宅時間増加による、レトルトカレー市場の拡大や、本格スパイスカレーの自作ブームが要因としてあるようです。その他チャイやクラフトコーラ、カルダモンロール、アルコール飲料といったカレー以外への使用範囲の拡大もあり、カルダモンの認知度も上がっていききました。

国内需要の動向が輸入の動向に影響するのはもちろんですが、カルダモンは収穫量が天候に左右されやすく、輸入の数量・金額に大きく影響します。2019 年から 2020 年、また 2024 年から 2025 年は、数量が減少する一方で金額は増加しており、これは、主要生産国の天候不順による収穫量減少の影響が大きいとのこと。

## 港別輸入シェア

2024年の港別輸入シェアは、次の円グラフのとおりです。2024年の横浜港は、数量で40.5%、金額では39.6%のシェアを占めています。

横浜港のシェアが高い理由として、香り高いスパイス類の保管・管理に慣れた専用の定温倉庫が多いこと、最終製品の加工工場等へのアクセスが良いことなどがあげられます。



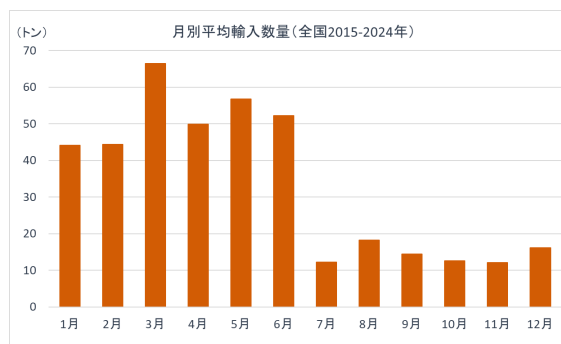
### ◎ミニコラム～

#### カルダモンの収穫から手元に届くまで◎

カルダモンは、8、9月頃から翌年の春にかけて、果実の熟し方を見極めながら複数回に分けて収穫されます。その後乾燥させ、選別し、品質検査等を経て生産国から輸出されます。海上輸送に1～2か月程かかり、日本への輸入数量は年の上半期に多い傾向があります。

輸入されたカルダモンは、ホールのまま又はパウダーに加工され、カレーなどの調味料原料として使用されたり、瓶や袋に詰めてスパイスとして販売されます。

カルダモン単品での販売以外にも、クミンやコリアンダーなどと一緒にスパイスカレー用に、シナモンやクローブ、ジンジャーなどと一緒にチャイ用に、といった用途に合わせたミックススパイスもあり、手軽にエキゾチックな風味を楽しむことができます。



## 国別輸入動向

2024 年は、全国では 7 か国、横浜港では 4 か国からカルダモンが輸入されました。国別の数量と金額をみると、全国及び横浜港ともに、グアテマラからの輸入が多く 80%以上のシェアを占めており、次にインドが続きます、この 2 か国で 99%を超えています。

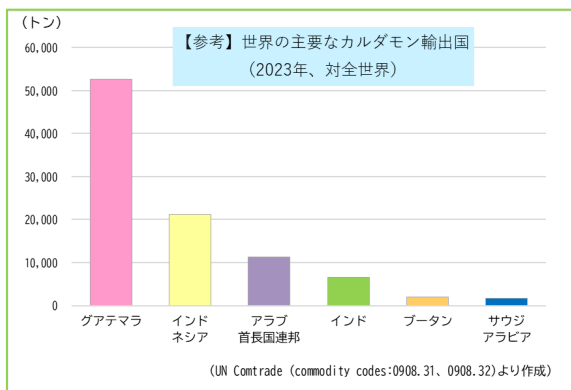
全 国(2024 年)					
国 名	数量 (トン)	数量 構成比	金額 (百万円)	金額 構成比	通関単価 (円/KG)
全 世 界 ( 7 か 国 )	443	100.0%	1,411	100.0%	3,184
グ ア テ マ ラ	372	83.9%	1,131	80.2%	3,043
イ ン ド	67	15.2%	269	19.1%	3,993
中 華 人 民 共 和 国	2	0.4%	3	0.2%	1,550
ベ ト ナ ム	1	0.3%	2	0.1%	1,751
そ の 他	1	0.3%	6	0.4%	—

横浜港(2024 年)					
国 名	数量 (トン)	数量 構成比	金額 (百万円)	金額 構成比	通関単価 (円/KG)
全 世 界 ( 4 か 国 )	180	100.0%	558	100.0%	3,107
グ ア テ マ ラ	172	95.7%	525	94.1%	3,053
イ ン ド	7	4.1%	32	5.8%	4,401
中 華 人 民 共 和 国	0	0.1%	1	0.1%	2,052
ベ ト ナ ム	0	0.1%	0	0.0%	2,600
—	—	—	—	—	—

### ◎ミニコラム～カルダモンとグアテマラ◎

カルダモンの故郷インドでの栽培は、主に国内消費向けなのですが、遠く離れた中南米のグアテマラでは、輸出用として栽培が始められた経緯があります。

グアテマラは山間部が多く、カルダモンの生育に適した標高と温暖な気候、一定の雨量と湿り気のある土壌、森林による半日陰といった条件を備えていたため生産量が次第に増え、世界市場における主要輸出国となりました。カルダモンは、同国にとって、主要輸出農産品の1つでもあります。



#### 主要産業

農業（コーヒー、バナナ、砂糖、カルダモン、食用油脂）、繊維産業

#### 主要貿易品目（2023年 グアテマラ中央銀行）

輸出）衣類・繊維、カルダモン、バナナ、食用油脂、砂糖、コーヒー

輸入）自動車、機械類、プラスチック製品、ガソリン、ディーゼル

#### 対日貿易主要品目

輸出）コーヒー、胡麻、カルダモン、バナナ等

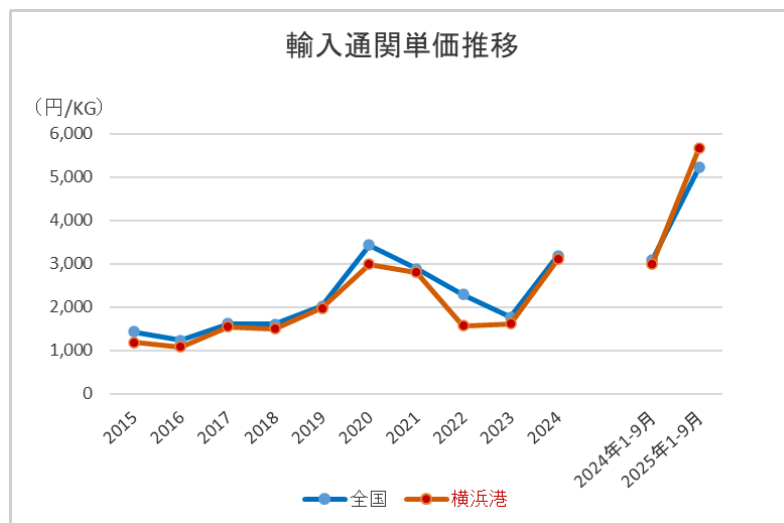
輸入）自動車、鉄鋼、一般機械、医療機器等

(外務省ホームページ グアテマラ基礎データより作成)

## 通関単価の動向

2024 年の横浜港での通関単価は 1 KG あたり 3,107 円となり、全国でも 1 KG あたり 3,184 円と、いずれも 2015 年の横浜港 1,193 円、全国 1,432 円からそれぞれ 2 倍以上となっており、2025 年に入ってからの上昇傾向は続いています。

業界によりますと、価格の上昇、下降は、主要生産国であるグアテマラとインドの価格が双方に影響しあい、いずれかの国での不作・豊作が全体に影響するそうです。2020 年の価格高騰は、2018 年、2019 年と続いたインドの天候不順による不作の影響が大きく、その後収穫量が復活し価格は一旦落ち着いてきたものの、2024 年からはグアテマラの天候不順による不作の影響で再び価格が上昇しています。また、生産国の人件費等生産コストの上昇も大きい他、海上運賃等物流費の上昇も一因とみられています。



## 今後の見通し

カルダモンの輸入の今後について、業界では、香りを重視したカレーの人気定着や、カレー以外の食品への使用もある程度広まり、国内需要は堅調なことから、安定した輸入量で推移するものとみています。輸入価格については、天候による生産量の増減、為替変動等不確定な要素が多く予測は難しい面がありますが、他の食品同様に世界的な物価上昇や燃料等の物流費高騰の影響なども含め、当面は高い水準が続くと予想されています。

<取材協力> エスビー食品株式会社 他 (五十音順、敬称略)

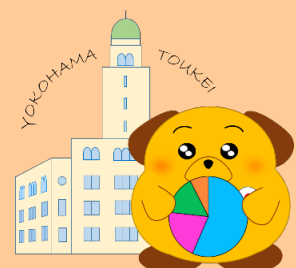
### 【この資料に関する問い合わせ】

横浜税関 調査部 調査統計課 Tel 045-212-6100

〒231-8401 横浜市中区海岸通 1-1

<https://www.customs.go.jp/yokohama/>

本資料を他に転載するときには、横浜税関の資料による旨を必ず注記して下さい。





# カルダモンのミニ知識



## ◎カルダモンの種類◎

カルダモンを大きく分けると2種類あり、一般的に流通しているグリーンカルダモンと、その他にブラウン(ブラック)カルダモンがあります。同じショウガ科ですが品種が異なり、色や粒の大きさ、使い方、主な産地の違いもあります。

ブラウン(ブラック)カルダモンの香りは強くスモーキーで、主に煮込み料理、肉や魚料理の臭み消しなどに使われます。



## ◎カルダモンシュガーのフレンチトースト◎

材料 (2 人分)

- ・ フランスパン 4 枚(4cm 厚さ)
- ・ 卵 2個
- ・ 砂糖 大さじ 1
- ・ 牛乳 400ml
- ・ バター 20g
- ・ カルダモン(パウダー) 小さじ 1/4
- ・ グラニュー糖 小さじ 2



### <作り方>

- 【1】卵は割りほぐして牛乳と砂糖を混ぜ、フランスパンを入れて十分に浸します。  
時間がある場合は、冷蔵庫に入れて半日以上浸します。
- 【2】カルダモンとグラニュー糖を混ぜ合わせ、カルダモンシュガーを作ります。
- 【3】フライパンにバターを入れて火にかけ、バターが溶けたら【1】を入れ、両面に焼き目がつくように焼きます。表面に【2】を振ります。



季節柄、ホットワインや  
チャイもいかがですか？

(レシピ・料理写真提供:エスビー食品株式会社)

## ◎カルダモンウォーター◎

1L に対してホール5粒を目安に莢を軽く割って入れ、6～12 時間浸せば完成です。  
又は、熱湯であれば粗熱が取れるころには抽出完了。  
スツと爽やかな風味で、お口をすっきり、手軽な気分転換におすすめです。

香りが引き立ちます！



# カルダモンの輸入に係る各種データ

本特集の「カルダモンの輸入」は、以下の統計品目番号についてまとめたものです。  
 輸入統計品目番号：0908.31及び0908.32(2012年以降)、0908.30(1988年～2011年)  
 ※1988年～2024年は確定値、2025年は確報値

## 1. 全国と横浜港の輸入実績推移

年	全 国					横浜港						
	数 量 (KG)	前年比	金 額 (千円)	前年比	通関単価 (円/KG)	数 量 (KG)	前年比	全国比	金 額 (千円)	前年比	全国比	通関単価 (円/KG)
1988	216,927	—	216,748	—	999	101,970	—	47.0%	126,236	—	58.2%	1,238
1989	193,104	89.0%	174,465	80.5%	903	103,895	101.9%	53.8%	104,965	83.1%	60.2%	1,010
1990	287,080	148.7%	477,436	273.7%	1,663	153,911	148.1%	53.6%	344,815	328.5%	72.2%	2,240
1991	192,442	67.0%	274,738	57.5%	1,428	125,175	81.3%	65.0%	207,857	60.3%	75.7%	1,661
1992	218,613	113.6%	246,022	89.5%	1,125	94,010	75.1%	43.0%	122,906	59.1%	50.0%	1,307
1993	124,951	57.2%	187,407	76.2%	1,500	58,055	61.8%	46.5%	109,028	88.7%	58.2%	1,878
1994	269,323	215.5%	299,429	159.8%	1,112	135,500	233.4%	50.3%	187,155	171.7%	62.5%	1,381
1995	245,625	91.2%	225,483	75.3%	918	145,400	107.3%	59.2%	150,043	80.2%	66.5%	1,032
1996	364,138	148.2%	295,350	131.0%	811	188,405	129.6%	51.7%	156,509	104.3%	53.0%	831
1997	303,516	83.4%	349,777	118.4%	1,152	126,716	67.3%	41.7%	160,224	102.4%	45.8%	1,264
1998	226,840	74.7%	248,483	71.0%	1,095	87,488	69.0%	38.6%	113,595	70.9%	45.7%	1,298
1999	347,531	153.2%	599,208	241.1%	1,724	155,071	177.2%	44.6%	288,543	254.0%	48.2%	1,861
2000	278,412	80.1%	343,274	57.3%	1,233	149,168	96.2%	53.6%	200,386	69.4%	58.4%	1,343
2001	346,479	124.4%	547,876	159.6%	1,581	174,884	117.2%	50.5%	304,245	151.8%	55.5%	1,740
2002	315,378	91.0%	528,422	96.4%	1,676	159,318	91.1%	50.5%	280,878	92.3%	53.2%	1,763
2003	270,282	85.7%	353,867	67.0%	1,309	144,700	90.8%	53.5%	229,439	81.7%	64.8%	1,586
2004	309,174	114.4%	251,674	71.1%	814	143,230	99.0%	46.3%	126,299	55.0%	50.2%	882
2005	345,772	111.8%	228,933	91.0%	662	172,832	120.7%	50.0%	125,034	99.0%	54.6%	723
2006	310,791	89.9%	191,497	83.6%	616	103,470	59.9%	33.3%	58,379	46.7%	30.5%	564
2007	310,899	100.0%	266,680	139.3%	858	127,325	123.1%	41.0%	110,149	188.7%	41.3%	865
2008	400,046	128.7%	490,291	183.8%	1,226	150,384	118.1%	37.6%	180,162	163.6%	36.7%	1,198
2009	324,781	81.2%	365,338	74.5%	1,125	194,763	129.5%	60.0%	232,112	128.8%	63.5%	1,192
2010	376,274	115.9%	804,647	220.2%	2,138	131,420	67.5%	34.9%	239,535	103.2%	29.8%	1,823
2011	379,309	100.8%	719,361	89.4%	1,897	86,135	65.5%	22.7%	142,215	59.4%	19.8%	1,651
2012	295,329	77.9%	408,300	56.8%	1,383	36,370	42.2%	12.3%	39,798	28.0%	9.7%	1,094
2013	364,318	123.4%	473,803	116.0%	1,301	78,520	215.9%	21.6%	62,115	156.1%	13.1%	791
2014	370,534	101.7%	406,577	85.8%	1,097	86,598	110.3%	23.4%	67,191	108.2%	16.5%	776
2015	343,510	92.7%	491,951	121.0%	1,432	81,921	94.6%	23.8%	97,748	145.5%	19.9%	1,193
2016	300,992	87.6%	373,115	75.8%	1,240	135,480	165.4%	45.0%	147,331	150.7%	39.5%	1,087
2017	388,880	129.2%	629,715	168.8%	1,619	146,883	108.4%	37.8%	227,307	154.3%	36.1%	1,548
2018	345,548	88.9%	555,727	88.3%	1,608	166,077	113.1%	48.1%	248,836	109.5%	44.8%	1,498
2019	414,108	119.8%	840,740	151.3%	2,030	181,235	109.1%	43.8%	359,338	144.4%	42.7%	1,983
2020	388,958	93.9%	1,335,185	158.8%	3,433	88,086	48.6%	22.6%	263,000	73.2%	19.7%	2,986
2021	493,108	126.8%	1,422,269	106.5%	2,884	114,757	130.3%	23.3%	322,224	122.5%	22.7%	2,808
2022	529,380	107.4%	1,213,465	85.3%	2,292	108,620	94.7%	20.5%	170,934	53.0%	14.1%	1,574
2023	350,301	66.2%	621,512	51.2%	1,774	70,773	65.2%	20.2%	114,797	67.2%	18.5%	1,622
2024	443,171	126.5%	1,410,890	227.0%	3,184	179,666	253.9%	40.5%	558,138	486.2%	39.6%	3,107
2024年1-9月	383,190	—	1,187,910	—	3,100	157,926	—	41.2%	473,784	—	39.9%	3,000
2025年1-9月	342,539	89.4%	1,787,311	150.5%	5,218	213,392	135.1%	62.3%	1,209,058	255.2%	67.6%	5,666

2. 港別輸入実績（2024年）

港 名	数 量 (KG)	構成比	金 額 (千円)	構成比	通関単価 (円/KG)
全 国	443,171	100.0%	1,410,890	100.0%	3,184
横 浜	179,666	40.5%	558,138	39.6%	3,107
神 戸	150,434	33.9%	440,191	31.2%	2,926
大 阪	60,310	13.6%	201,663	14.3%	3,344
川 崎	48,700	11.0%	195,883	13.9%	4,022
そ の 他	4,061	0.9%	15,015	1.1%	—

3. 国別輸入実績（2024年）

全 国						横浜港					
国 名	数 量 (KG)	構成比	金 額 (千円)	構成比	通関単価 (円/KG)	国 名	数 量 (KG)	構成比	金 額 (千円)	構成比	通関単価 (円/KG)
全 世 界 (7 か 国)	443,171	100.0%	1,410,890	100.0%	3,184	全 世 界 (4 か 国)	179,666	100.0%	558,138	100.0%	3,107
グ ア テ マ ラ	371,790	83.9%	1,131,229	80.2%	3,043	グ ア テ マ ラ	171,990	95.7%	525,123	94.1%	3,053
イ ン ド	67,326	15.2%	268,853	19.1%	3,993	イ ン ド	7,326	4.1%	32,242	5.8%	4,401
中華人民共和国	1,630	0.4%	2,527	0.2%	1,550	中華人民共和国	250	0.1%	513	0.1%	2,052
ベ ト ナ ム	1,168	0.3%	2,045	0.1%	1,751	ベ ト ナ ム	100	0.1%	260	0.0%	2,600
そ の 他	1,257	0.3%	6,236	0.4%	—	—	—	—	—	—	—

4. 過去10年間の月別平均輸入数量（全国）

（単位：KG）

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	10年平均	2025年
1月	74,714	35,821	50,184	42,700	84,942	60,771	25,747	37,994	9,857	19,120	44,185	10,531
2月	10,322	64,124	58,174	64,466	23,016	63,324	58,414	42,748	57,633	1,733	44,395	34,367
3月	56,527	49,800	61,778	33,373	46,720	61,584	103,400	139,740	80,475	31,409	66,481	30,717
4月	28,200	4,557	45,313	60,226	53,267	30,900	102,856	51,797	37,460	83,805	49,838	41,912
5月	13,681	10,896	65,433	40,779	39,156	86,450	65,277	100,573	32,818	113,060	56,812	44,813
6月	64,776	31,875	34,550	21,352	81,334	23,050	71,030	63,087	69,416	61,857	52,233	52,230
7月	11,613	3,348	10,500	19,721	11,944	19,875	2,667	18,107	2,433	22,153	12,236	49,728
8月	11,873	21,208	41,042	21,582	9,007	10,590	9,129	18,556	19,215	20,417	18,262	73,501
9月	22,760	40,500	864	7,710	9,844	7,370	9,300	10,803	5,525	29,636	14,431	4,740
10月	24,914	5,699	9,995	1,174	2,988	1,419	12,251	14,241	21,880	32,064	12,663	
11月	14,910	32,103	1,700	9,179	465	20,494	2,737	18,985	1,334	19,028	12,094	
12月	9,220	1,061	9,347	23,286	51,425	3,131	30,300	12,749	12,255	8,889	16,166	
年平均	28,626	25,083	32,407	28,796	34,509	32,413	41,092	44,115	29,192	36,931	33,316	

（参考）世界のカルダモンの主要輸出国（2023年）

国 名	数量 (KG)
グ ア テ マ ラ	52,691,748
インドネシア	21,260,597
アラブ首長国連邦	11,309,277
イ ン ド	6,536,149
ブ ー タ ン	2,061,931
サウジアラビア	1,753,705

※UN Comtradeより作成（commodity codes:0908.31、0908.32）